

IV. 令和7年度前期 南紀熊野サテライト開講授業

1. 大学院授業

授業科目名 (英文表記)	農業経済学 (Agricultural Economics)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	岸上 光克		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 5月10日(土) 13:00~17:00	第3回 6月21日(土) 13:00~17:00	
	第2回 5月31日(土) 13:00~17:00		

【授業のねらい・概要】

農業の現状と課題について基礎的知識を身につけるとともに、食料需給や農産物貿易等の「農」と「食」をめぐる社会経済問題を経済学的視点から理解する。内容としては、世界の農業と食料問題、農産物貿易の経済理論と農業保護、食料の需要と供給、経済発展と日本農業、日本農業の担い手・農地、農業と資源保全、日本農業と農産物流通、フードシステムと食品安全などとする。

【授業計画】

第1回① オリエンテーション、農業経済学とは何か。

農学における農業経済学の特徴、農業経済学に求められるスキルや知識

〔予習〕食料・農業・農村問題に関する情報収集を行うこと

〔復習〕ポストコロナ、ウィズコロナにおける、食料・農業・農村がどのようなようになるか将来を予測すること

第1回② 食料・農業・農村をめぐる情勢

最新の食料・農業・農村白書をもとに、農業・農村の過去・現在を確認

〔予習〕食料・農業・農村白書について事前に調べておくこと

〔復習〕授業で習った以外の白書の内容について確認すること

第2回① 農村活性化における事例分析

6次産業化や農工商連携の現状を把握、農業・農村における特徴的な取り組みを解説

〔予習〕農業・農村の活性化に取り組む事例を調べておくこと

〔復習〕授業で習った事例以外の取り組みを確認すること

第2回② 農協販売事業(直売所)における事例分析

産地を取り巻く環境変化を把握、農協販売事業(直売所)における特徴的な取り組みを解説

〔予習〕農協販売事業(直売所)について事前に調べておくこと

〔復習〕授業で習った事例以外の取り組みを確認すること

第3回① 山間地域における事例分析

山間地域振興に向けた政策とともに、山間地域における特徴的な取り組みを解説

〔予習〕山間地域の活性化に取り組む事例を調べておくこと

〔復習〕授業で習った事例以外の取り組みを確認すること

第3回② まとめ、最終課題の作成と提出

これまでの講義内容を踏まえ、これからの農業・農村について検討

〔予習〕これまでの授業の内容を整理すること

〔復習〕最終課題を完成させ、提出すること

【到達目標】

食料・農業・農村の過去・現在を把握するとともに、最近の動向を知り、今後のあり方について各自が検討できることを目標としています。具体的には、既存文献や論文、統計データをもとに、現状分析ができること、特徴的(優良)事例を取り上げ、特質することを把握することができること、それらを他者に説明することができることなどがあげられます。

【成績評価の方法】

各回の講義で行った課題の提出(50点)および最終課題の提出(50点)により評価します。

【教科書】

特に指定しません。必要に応じて、資料やファイル(データ)を配布します。

【参考書・参考文献】

- ・藤田武弘・内藤重之・細野賢治・岸上光克『現代の食料・農業・農村を考える』ミネルヴァ書房(2018)
 - ・農林水産省『食料・農業・農村白書』(各年)
- この他、授業中に適宜紹介する。

【履修上の注意・メッセージ】

授業時に提示された予習課題に自主的に取り組んでください。それを踏まえて、授業で議論をします。

受講生の理解度を見ながら、授業の進捗やトピックの一部を調整することがあります(そのつど説明します)。授業内容や個人差によって変わりますが、予習に1時間、復習に1時間程度の学習を計画してください。

【履修をする上で必要な事項】

特になし

【授業時間外学修についての指示】

授業時間外学習(予習・復習)については授業計画を参照のこと。